

向島南だより

平成25年度 臨時号
京都市立向島南小学校
校長 桂 裕之

前期 学校評価アンケート結果

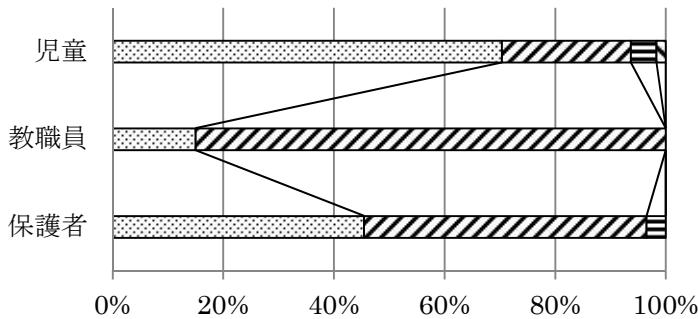
例年なら、秋も深まりを見せる頃ですが、今年は夏の暑さが10月に入っても続いています。保護者や地域の皆様には、本校教育に日頃よりご支援・ご協力をいただきましてありがとうございます。

先日、ご協力をいただきました「前期 学校評価アンケート」の結果を児童へのアンケート、教職員の自己評価の結果とともににお知らせいたします。

アンケート結果 [実現度] (できているか)をグラフにして表しました。

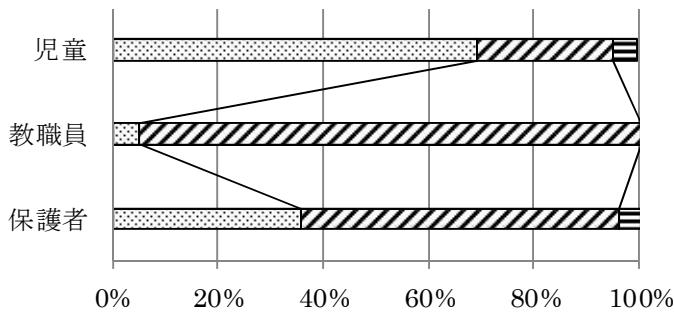
■ よくできている ■ だいたいできている ■ あまりできてない ■ できない

1 楽しく学校生活を送っている



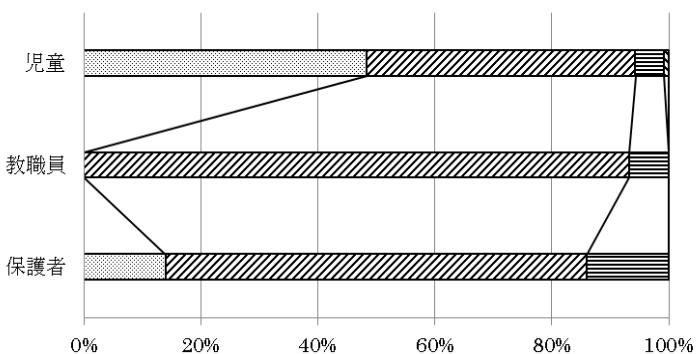
おおむねほとんどの児童・保護者が楽しく送っているという回答を寄せている。しかし、わずかではあるが、送っていないと回答している児童・保護者が存在していることを念頭に置き、学校の中で安心していられるクラス・教室・友達関係などこれからもより一層留意していきたい。

2 友達とかよくしている



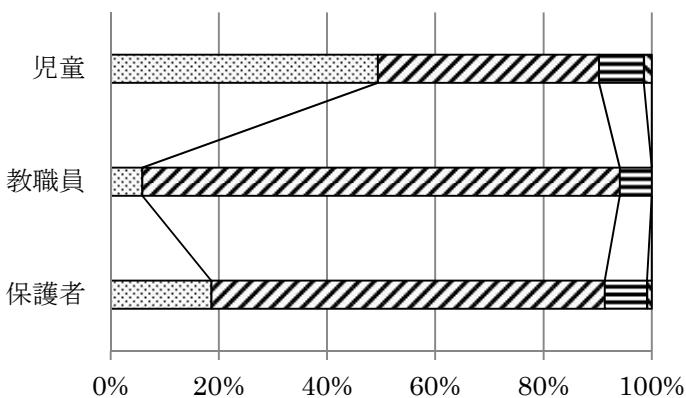
ほとんどの児童・保護者がなかよくできていると感じている。だれとでも仲良くすることは、教室で居心地をよくするのが第一歩であることを踏まえ、クラス担任を中心に教職員全員で望ましい友達関係が構築できるよう見守っていきたい。

3 学習がよくわかっている



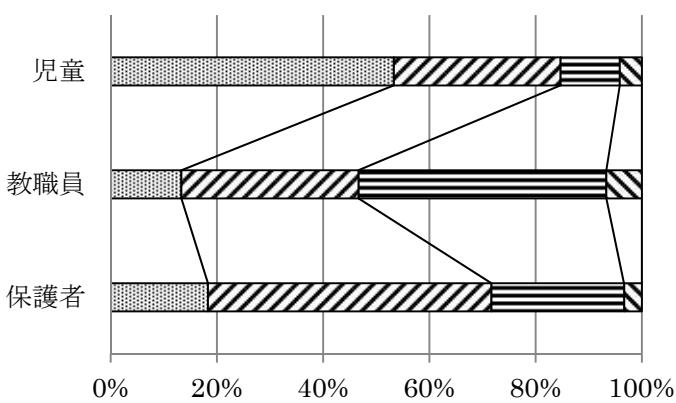
児童は、半数以上の子がよくわかっていると答えており、教職員は、大体わかっていると答えており、認識のちがいが見られる。また、保護者は、あまりわかつていないと感じている割合が多く、ここでも意識のズレがある。今後もよりわかる授業の研究を進めていきたい。

4 学習規律を守り、学びの場にふさわしい態度で授業をうけている



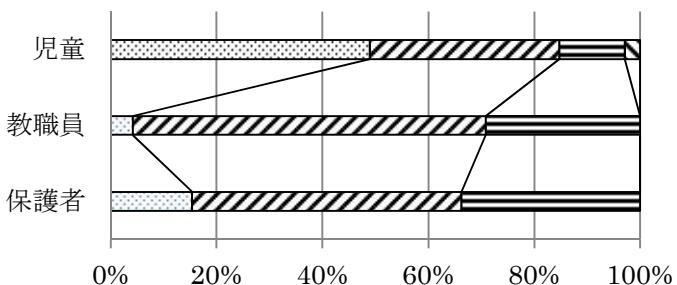
児童の半数の子は、学習態度についてきちんとできているように感じているが、教職員は、話す聞く態度や発表の有無、ノートのとり方等々多角的に学習態度を捉えているため、大体できていると答えている者が多い。保護者の方も参観・自由参観にどんどんお越し頂いて子どもたちの学習態度について子どもたちと話し合っていただければと考えている。

5 家庭学習をする習慣が身についている



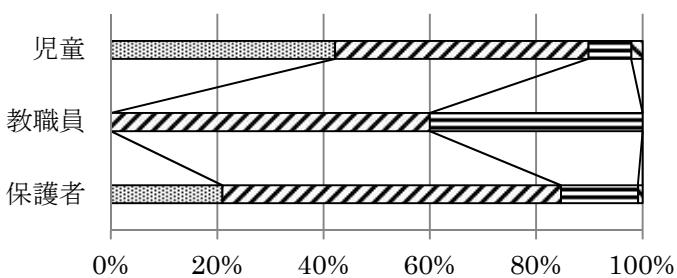
児童や保護者は、おおむね家庭学習ができると考えているが教職員は、半数以上ができるとは捉えていない。これは児童が、宿題=家庭学習と考えているのに対して教職員は、15分×学年分の家庭学習の時間のためには、宿題以外にも自学自習の時間が必要と考えているためではないかと考えられる。今後 15分×学年分の家庭学習時間の確保を児童にも意識させたい。

6 すすんであいさつができる



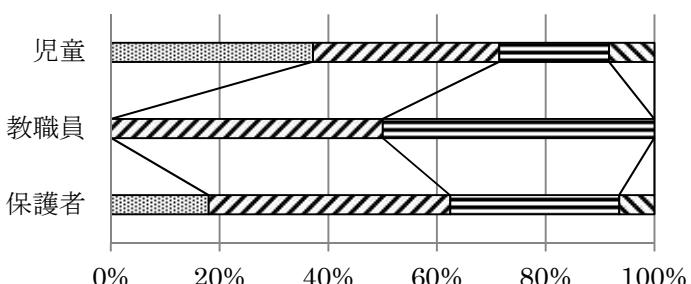
児童と保護者・教職員の間に認識のずれがあり、児童は、できていると捉えている子がほとんどである。「おはようございます」だけでなく、「ありがとうございました」等が気持ちよく、元気に言えるよう家庭・地域・学校が一体となって取り組んでいきたいと考える。

7 ルールやマナーを守ろうとする規範意識が育っている。



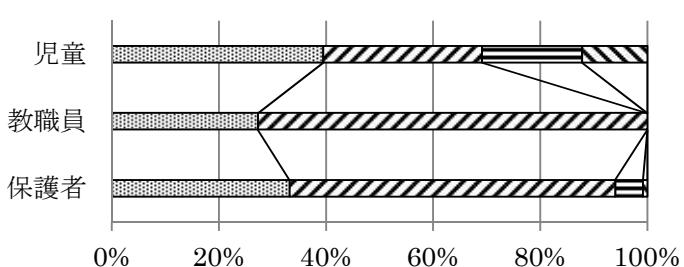
教職員と保護者・児童の間に認識のずれがあり、教職員は、十分に規範意識が育っていないと考えている。教職員は、一部の気になる行動を捉えて答えた差が出たと考える。周りの大人がルールやマナーの見本を示すことも大切であると考える。

8 早寝・早起きなど健康で望ましい生活習慣が身についている。



教職員と児童・保護者の間に意識のちがいが見られる。自分では正しい生活習慣が身についているつもりでも、登校時、あいさつはするけれども覇気を感じない子、目がうつろな子など教職員はきめ細かに子どもたちを客観的に見ていく結果がこのような結果になっているようにも思われる。

9 教職員は、子どものことに親身になって対応している



児童と教職員・保護者との間に認識のずれが見られる。教職員は、対応ができていると思っているが、児童は、自分から進んで教職員に相談しにくい様子がうかがえる。今後子どもが出すさまざまなサインを見逃さないよう教職員も意識していきたい。

保護者の自由記述より

○食後の歯磨きが時間がなくできていないみたいで気になる。

➡ 各クラスで給食後、歯磨きをするよう呼びかけていきますが、時間内に食べるだけでやっとの子もいて、時間内の歯磨きは全員が難しいのも確かです。学校保健委員会などでも話題にはしていきたいと思います。

○あいさつがきちんとできている子が少ない。(登校時や校内で)

➡ クラスや学校全体で折に触れ、指導していますが、なかなか定着しません。繰り返し指導していく必要性を感じるとともに、自分から先に言える子、大きな声で言える子、気持ちのよいあいさつができる子ができるようご家庭・地域でも声かけしていただけたらうれしいです。

○登下校時、交番の方に立っていただけないか。

➡ 確かにその通りで、学校からもお願いしています。パトロールなどの強化に取り組んでいただいている。今後もできる限り見ていただくよう要望していきます。

○友達関係が見えにくく難しさを感じる。早期発見・早期治療を実感する。

➡ おっしゃる通りです。家庭で気になることがあれば、学校でもすぐに対応を考えていきますので、遠慮なく担任にお知らせください。

○クラスによって配布物を配る日が違ったり、教え方等違ったりするので、学年内で統一してほしい。また、時間割のまちがいや宿題プリントの印刷が薄いこともある。

➡ 申しわけございません。学年会などで、チェック体制を強化し、十分話し合っていきたいと思います。ただ、学級の実態によって指導方法が少しずつ違うことはあります。

○1年生の間は、補助の先生にもっと入ってもらえないのか。

➡ できる限り支援員やボランティアに入ってもらっていますが、他の学年でも支援が必要なこともあります、現状ではこれ以上入れるのが実情です。ご理解のほどお願いします。

○学校生活にも慣れたが、慣れが良い方向に向いていない。宿題などダラダラやるようになってきたので、学校でも子どものことを一步踏み込んで指導してほしい。

➡ 担任は、クラスの児童のことを毎日きめ細かく見ていましたし、気になることがあれば、連絡もさせていただいている。家庭でも気になることがあれば、すぐに担任に遠慮なく知らせていただければと思います。

まとめ

○今回の結果は、いくつかの項目で児童・保護者・教職員の意識のずれが見られた。このことを教職員もしっかりと認識し指導にいかしていきたい。

○社会情勢の変化の中で、子どもたちをとりまく環境も大きく変化してきている。学校だけでは対応しきれない問題等もたくさん出てきている。今後、家庭・地域の皆様と協力し、子どもたちのために力を尽くしていきたいと考えている。